

平成 31 年 2 月 23 日 多職種連携推進研修における「地域ケア会議模擬会議」シナリオ

発言者	内容
司会者	<p>それでは西和賀町仮称個別地域ケア会議の模擬会議を開催します。</p> <p>この会議は、対象の事例の課題の捉え方や目標設定が適正であるか、目標を解決、達成するためのサービスが的確なのかといった点について出席者からのご意見や専門職の方からの助言をいただくことを目的としています。</p> <p>来年度から行うケア会議では、サービス提供前のサービス計画の案を対象とすることとしておりますが、今回取り上げる事例は、模擬会議ということで、既にサービス提供が行われているプランが対象になっておりますので、事業所のサービス計画も提出いただいておりますので、御了承ください。</p> <p>発言される方をお願いします。資料に基づいて発言される場合は、資料のページ数等を示して、参加者全員が理解しやすいよう配慮をお願いします。また、専門用語についても、分かりやすく言い換えるなどの配慮をお願いします。</p> <p>なお、今回は模擬会議なので個人情報資料では伏せてありますが、内容から個人が特定される可能性もありますので、情報の保護にご留意願います。配布資料は本日終了後回収いたしますので、御協力をお願いいたします。</p> <p>また、見学者の皆さんからの発言は模擬会議終了後の意見交換の場でいただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>では助言者の紹介をいたします。</p> <p>(職名と氏名を順番に紹介)</p> <p>私は、地域包括支援センターの〇〇です。よろしくをお願いいたします。</p> <p>会議を 30 分で終えるため、要所でベルが鳴ります。</p> <p>それでは 4 分間で事例の読み込みをお願いします。</p>
(事例読み込み) ★ 4 分後にベル	(4 分間で各自資料を黙読)
司会者	それでは、ケアマネの××さんから、事例の説明を 4 分でお願いします。4 分経ったらベルが鳴ります。
××ケアマネ ★ 4 分後にベル	<p>(聞く人が事例の全体像が把握できるよう、対象者の概要、経過、ニーズ、目標、計画の内容を説明する。)</p> <p>△△△△の××です。</p> <p>「ケース概要報告書」に従って事例の説明をします。</p> <p>S.K さん、85 歳の男性、要介護 2 の方です。</p> <p>家族構成は奥様の二人暮らしの高齢世帯、〇〇市在住の息子さんが週に 2 ～ 3 回自宅に来て様子を見ています。</p> <p>平成 28 年 4 月に交通事故で受傷し、4 月 8 日、■■■(某) 病院の外科受診で前頭葉の硬膜下水腫と脳萎縮が見られ、外来でフォローしていましたが左麻痺が出現したことから、11 月に右ドレナージ術にて水腫を除去し、その後農作業に復帰されています。</p> <p>約 1 年後の平成 29 年 11 月頃からふらつき、るい瘦、いわゆる著しい痩せ</p>

	<p>が出現し、全介助歩行となり、翌月 12 月に右ドレナージ術を実施しました。リハビリ目的で△△病院へ転院し、見守りにて歩行可能、食事全量摂取と状態が回復され、自宅退院が可能となりましたが、食道炎の診断が出たため、内視鏡検査とリハビリ目的で〇〇病院転院となりました。その後、平成 30 年 3 月に退院して在宅に戻っています。</p> <p>続いて、居宅サービス計画書にてケアプランを説明します。</p> <p>居宅サービス計画書（1）とあります 1 表をご覧ください。ご本人、家族の要望としては、ご本人は自宅に戻り、以前のように畑作業をしたい、ご家族は歩けるようになってほしい、なるべく以前の生活に戻ってほしいとの要望があります。ご家族は自宅での入浴が困難なので、通所介護での入浴を希望されています。</p> <p>サービス計画書の 2 表です。生活全般の解決すべき課題は、「慢性硬膜下血腫の再発の恐れがある」、「病気の再発による筋力低下から立ち上がりや歩行ができない」、「下肢筋力低下により浴槽をまたげない」と設定しました。</p> <p>一つ目の課題の長期目標は、病気の再発を防ぐ、そのための短期目標を定期的に受診する、とし、サービス内容は、ご家族による定期通院、デイサービスではバイタル測定や身体状況観察をお願いしています。</p> <p>二つ目の課題の長期目標は居間からトイレまで一人で歩けるようになる、短期目標は家族や職員の見守りでトイレまで伝って歩けるようになる、としました。サービス内容は、特殊寝台による起き上がりや立ち上がりの補助、手すりの貸与、住宅改修による廊下の手すりの取り付け、デイサービスでの下肢筋力向上の体操、畑作業への参加としました。</p> <p>三つ目の課題については、一人で自宅のお風呂に入るという長期目標に対し、職員の見守りでの浴槽の出入り、洗身・洗髪動作を短期目標として、デイサービスでの 60 センチの高さのまたぎ訓練と洗身・洗髪の練習、肩の稼動域の訓練をお願いしています。</p>
司会者	<p>ありがとうございました。</p> <p>85 歳男性、要介護 2 の方で、筋力低下から立ち上がりや歩行、浴槽のまたぎができないということです。</p> <p>事例提供者にお伺いしますが、平成 28 年 4 月には硬膜下水腫の診断がありますが、病名欄には右慢性硬膜下血腫とあります。平成 29 年 12 月の右ドレナージ術は右慢性硬膜下血腫への対応ということでしょうか。</p> <p>また、下肢筋力の低下は 3 か月ほどの入院によるものでしょうか。</p>
××ケアマネ	(回答)
司会者	<p>わかりました。ケース概要報告書の食事欄に体重が 38kg 等と記載がありますが、身長は何センチの方ですか。</p>
××ケアマネ	(回答)
司会者	わかりました。

	<p>課題としては病気の再発防止と筋力の向上ということのようで、要介護状態は改善の可能性があるようです。</p> <p>続いて、通所サービス事業所からサービス計画の説明を3分をお願いします。</p>
<p>●●相談員 ★3分後にベル</p>	<p>デイサービス〇〇の●●です。</p> <p>通所介護計画書についてご説明します。</p> <p>生活全般の解決すべき課題は、居宅の介護サービス計画書に沿って3点設定しています。それぞれの課題ごとに目標とサービス内容を説明します。</p> <p>一つ目の「慢性硬膜下血腫の再発の恐れがある」については、病気の再発を防ぐという長期目標に対し、通院のための車の乗降が一人で行えることを3ヶ月間の短期目標としました。サービス内容は、バイタル測定や身体状況の観察、転倒防止の見守りに加え、送迎時の乗降の見守り、自宅玄関口の段差解消といった環境整備としています。</p> <p>課題の二つ目の「病気の再発による筋力低下から立ち上がりや歩行ができない」については、6ヶ月後にデイの畑作業に参加するという長期目標と、デイルームからトイレまで歩いていくという短期目標を設定しました。居宅サービス計画で下肢筋力向上の体操提供を求められていますので、そういった体操やアクティビティを提供しています。</p> <p>また、排泄にリハビリパンツを使用していますので、排泄動作の指導・介助も行っています。</p> <p>課題の三つ目は「疾病の再発による筋力低下により、洗身・洗髪・浴槽のまたぎ動作ができない」とし、6ヶ月の長期目標を「入浴の一連の動作が一人で行える」短期目標を浴槽の高さの階段をのぼることができることと、一人で洗髪が出来ることとしました。サービス内容は、階段昇降訓練、風船バレーなどの肩の稼動域を広げる体操やレクリエーションを行うこととしています。</p> <p>いずれのサービスも負担をかけすぎないよう負荷をの管理をすることや、転倒に注意するなど安全に配慮することを留意点にしています。</p>
司会者	<p>ありがとうございました。</p> <p>専門職の方からの助言は後ほどいただきますが、出席者の方から確認したいことなどありましたら挙手して発言をお願いします。</p>
発言者 A	(出席者からの発言)
××ケアマネ又は●●相談員	(回答)
司会者	<p>続いて、専門職の方からのご助言をお願いします。</p> <p>では〇〇薬局、薬剤師の〇〇さん、お願いします。</p>
〇〇薬剤師	(助言)
司会者	続いて、〇〇の栄養士、〇〇さん、お願いします。
〇〇栄養士	(助言)

司会者	次、歯科衛生士の〇〇さん。
〇〇歯科衛生士	(助言)
司会者	〇〇病院の理学療法士の〇〇さん。
〇〇理学療法士	(助言)
司会者	〇〇の作業療法士の〇〇さん。
〇〇作業療法士	(助言)
司会者	助言者の皆さん、ありがとうございました。 最後に改めて質問や意見がある方おりましたらお願いします。
発言者 B	(出席者からの発言)
司会者	最後に、包括支援センターの保健師から、この事例に対する助言をお願いします。
〇〇保健師	(助言)
司会者	事例提供者から何か発言ありますでしょうか。
××ケアマネ	(発言)
司会者	以上で会議を終了します。資料は意見交換の後で回収します。お疲れ様でした。

模擬会議の時間配分

司会者の発言	3 分
ケースの読み込み	4 分
ケアマネからの概要説明	4 分
サービス提供事業者説明	3 分
司会による事例の概要説明	15 分
出席者からの内容の確認	
専門職からの助言	
その他出席者からの発言	
包括からの提案	1 分
計	30 分